

## 「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

<b>企画名</b>
全日本学生フォーミュラ大会への挑戦
<b>実施日</b>
平成 27 年 9 月 1 日（火）：～ 平成 27 年 9 月 5 日（日）
<b>実施場所</b>
エコパ(小笠山総合運動公園・静岡県)
<b>企画代表者の氏名, 所属</b>
氏名：福永 浩希 所属：工学部代一類 学生番号：B141968 連絡先電話番号：090-8602-9187 E-mail：fsae@hiroshima-u.ac.jp
<b>構成員の氏名</b>
小島 祐人 (D155447), 渡辺祥央 (M146494), 高谷駿介 (M150659), 宮崎亮輔 (M150791), 玉城史彬 (B114765), 林明日香 (M156126), 増田啓司 (M153174), 古株拓弥 (M153700), 松田隆太郎 (B124919), 大濱康治 (B120603), 玉井莞爾 (B142471), 中村 龍太郎 (B144118), 松田 孝太 (B140116), 米岡 拓留 (B144048), 竹本 直矢 (B144385), 富田 海 (B140169), 飛永健斗 (B142192), 西垣祐作 (B156535), 藤原文一郎 (B152043), 谷口果菜 (B151824), 南方麻友子 (B156307), 丸野倫寛 (B151022)
<b>指導的立場の教員氏名</b>
西田 恵哉 教授
<b>企画の目的及び内容</b>
私たちのチームは、全日本学生フォーミュラ大会に参加し、総合順位 10 位以内入賞という目標に向け、フォーミュラカーを学生主体で構想・設計・製作・走行及び性能評価を行っており、この活動を通して学生のものづくりの総合力が培われ、自動車技術ならびに産業の発展・振興に関する人材が育成されることが期待されます。大会では加速性能を測るアクセラレーション、旋回性能を測るスキッドパッド、設計を審査するデザイン審査など、様々な競技を通して総合順位を競い合います。
<b>来場者数</b>
約 15,000 人
<b>主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模）</b>
公益社団法人自動車技術会が主催し、トヨタ、ニッサン、ホンダ、マツダなどの自動車メーカーを始め、多くの関連企業をスポンサーとして開催されております。今大会は、日本全国及び海外よりも合わせて 90 チームがエントリーする大規模な大会となっております。
<b>活動の内容（準備、広報活動、当日の様子等）</b>
前年度大会が終わった昨年 9 月下旬より前年度車両と大会結果分析を行って今年度の設計構想・目標値を設定し、10 月から主要設計を開始しました。主要設計は年内に済ませられるようなスケジュールを当初立てておりましたが、想像以上に設計が難航し、年が明けた 2 月頃に最終的な設計が終わりました。細かい設計修正を行いながら車両製作に取り掛かりましたが、これまでの遅れもあり、目標にしていた 5 月中のシェークダウンを行うことができませんでした。結局、車両のシェークダウンができたのは 7 月になってからであり、これにより、マシンのセッティングやドライバーの練習に十分な時間を当てることができなくなってしまいました。大会では、車検を受ける事ができたのが 2 日目の 10 時からで、一回で通過することはできませんでした。クイック車検でなんとか昼頃には技術車検を通す事ができました。しかし、その日のうちにすべての車検を通過することはできず、3 日目の朝にすべての試験をパスすることになりました。車検と並行して行われた静的審査につきましては、全体的に思ったような結果を出すことができず、多くの課題が残るものに思われました。動的審査に関しまして、1 年ぶりに完走を果たすことができましたが、発進から 75 m 地点までの加速性能を競うアクセラレーション、8 の字コースを走行し旋回性能を競うスキッドパッド共に目標のタイムに少し及ばず、複雑な 900m ほどのコースを走行してタイムを競うエンデュランスも練習不足が影響し、とても残念な結果に終わってしまいました。結果といたしましては目標としておりましたトップ 10 入りを果たすことができず、37 位という結果に終わってしまいました。広報活動に関しては、大学祭での車両展示を予定しており、工学部新入生ガイダンスの場をお借りしてのチーム紹介・新メンバー勧誘プレゼンテーション、スポンサー獲得のための渉外活動、及びチームホームページやブログでの広報を行っております。

(裏面に続く)

# 「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

## アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

### 成果・課題

大会順位といたしましては、90 チーム中 37 位という結果に終わりました。昨年度に比べて約 10 位順位を上げる事ができはしたものの、マシン性能、ドライバー育成、スケジュール管理など、改善すべき項目はまだ多くあるように感じます。この中でもスケジュール管理が他の問題とも密接に関係していると考えております。設計と製作に思っていた以上の時間がかかってしまい、ドライバーが練習する時間が減ったことは明らかであり、また時間に追われながら行ったマシン製作も、余裕ある日程で行うことができればさらに良いものができあがったのではないかと思います。

以上から、チームとしての大きな課題は見通しのたった計画を立て、実行することだと考え、来年度プロジェクトはこれらのことを考えながら進めて参ります。

### 実施風景 (写真)



【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。  
E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学部学生支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)